

全体	No.48
個別	012-01

## 平成25年度 [上県地域活性化センター] 目標の成果

課名	各課共通
----	------

No.	項目	地域イベント・ボランティア活動への参加
	<b>1. 組織目標</b>	
	<p>【内容】 地域イベントやボランティア活動に積極的に参加します。</p> <p>【指標】 職員の参加率「50%」を目標とします。</p>	
	<b>2. 実績(成果)</b>	
	<p>地元開催のあじさい祭・パラグライディング対馬大会、対馬初午祭、上対馬で開催の国境マラソンイン対馬などに上県地域活性化センターの多数の職員が参加しました。ひとつばたご祭りにも職員が参加しています。</p> <p>また、管内の公園の草刈り等にも、休日、職員が自発的に参加する姿がありました。</p>	
	<b>3. 評価</b>	○
	<p>上県地域活性化センターの多数の職員が、地域で開催されたイベントやボランティア活動に積極的に参加し、地域住民との関わりの重要性を認識できました。</p> <p>また、管内イベントにとどまらず、管外におけるイベントにも多数の職員が参加し、イベントを支えました。</p>	
	<b>4. 今後の展開</b>	
	<p>今後も引き続き、地域イベント・清掃活動・福祉活動に積極的に参加し、地域との関わりを深め、「協働」を根付かせる必要性を痛感します。</p> <p>平成26年度の機構改革により、上対馬振興部と協力し地域のボランティア活動に参加します。</p>	

全体	No.49
個別	012-02

平成25年度 [上県地域活性化センター] 目標の成果

課名	各課共通
----	------

No.	項目	窓口及び電話対応の向上
	<b>1. 組織目標</b>	
	<p>【内容】 窓口サービス及び電話対応の向上に努めます。</p> <p>【指標】 窓口、電話対応に対する苦情件数「ゼロ」</p>	
	<b>2. 実績(成果)</b>	
	<p>上県地域活性化センター全職員が、来庁者に対して親しみやすい挨拶と、お客様を待たせない対応を常に心がけました。</p>	
	<b>3. 評価</b>	○
	<p>窓口対応については、来庁者に対し親しみやすい挨拶とお客様を待たせない対応ができ、住民サービスにおける職員の資質向上、住民に親しみやすい組織づくりができたと考えます。</p> <p>このように常日頃から、親切丁寧な対応を心がけていますが、なお一層、職員の意識徹底を図っていきます。</p>	
	<b>4. 今後の展開</b>	
	<p>窓口及び電話対応は、地方自治体にとって地域住民からのニーズに応える基本的なことであり、今後も引き続き組織目標として、親しみやすく苦情のない組織づくりを目指していきます。</p>	

全体	No.50
個別	012-03

平成25年度 [上県地域活性化センター] 目標の成果

課名	各課共通
----	------

No.	項目	庁舎内外の清掃の徹底
	<b>1. 組織目標</b>	
		<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎内の週1回の清掃の徹底</li> <li>・週1回の庁舎内清掃に加えて、毎月始めの木曜日にセンター敷地並びに周辺の清掃、除草の徹底。</li> <li>・ゴミや汚れを見つけたときの「即清掃」の徹底。</li> <li>・庁舎内から出るゴミの減量化と分別の徹底。</li> </ul> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎内の週1回の清掃。</li> <li>・月1回の敷地並びに周辺の清掃・除草。</li> <li>・今年度より事業系ゴミとして処理される庁舎内ゴミに関し、予定排出量を少しでも下回るよう、ゴミの「減量化」に取り組みます。</li> <li>・分別を徹底し、資源ゴミとします。</li> <li>・センター周辺で除草した植物の緑肥化を図ります。</li> </ul>
	<b>2. 実績(成果)</b>	
		<p>庁舎内の週1回の清掃及び月1回の敷地内の清掃については、目標通り取り組みました。ゴミの減量化についても、ミスプリント紙の裏紙としての利用や、封筒の再利用等で減量化を図ることができたと考えています。</p> <p>資源ゴミの分別についても、カン・ビン・段ボールなど、分別はできましたし、庁舎周辺の除草・緑肥化についても、職員で協力し目標を達成できました。</p>
	<b>3. 評価</b>	○
		<p>庁舎内外の環境の善し悪しは、来庁される市民の皆様はもちろんのこと、周辺住民の皆様の市役所に対する印象に大きく影響を与えることから、今後もなお一層、職員の意識徹底を図っていきます。</p>
	<b>4. 今後の展開</b>	
		<p>今後も現在の取り組みを強化し、よりよい庁舎内外環境となるよう、職員一丸となって目標を達成できるよう協力して取り組みます。</p>

全体	No. 5 1
個別	012-04

## 平成25年度 [上県地域活性化センター] 目標の成果

課名	地域支援課
----	-------

No.	項目	観光基盤の充実と体験型観光の推進
	<b>1. 組織目標</b>	
	<p>【内容】</p> <p>ツヤマヤネと対州馬など対馬固有の地域資源を活用し交流人口の拡大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対州馬保存管理基本計画の策定</li> <li>・対州馬とのふれあい事業の実施</li> <li>・ツシマヤマネコ生息地環境整備事業への取り組み</li> <li>・目保呂ダム馬事公園観光地整備事業への取り組み</li> </ul> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対州馬保存管理計画検討委員会により、関係機関と連携を図り計画を策定。</li> <li>・目保呂ダム馬事公園の交流人口の拡大目標</li> </ul> <p>平成25年度目標：6,000人、平成25年度実績：4,513人（平成24年度：4,500人）</p>	
	<b>2. 実績(成果)</b>	
	<p>馬事公園での年間来場者数は目標を上回ることができなかったものの、啓蒙啓発活動においては、平成24年度を上回る活動を展開しました。テレビ取材や福岡での島外イベントにも参加し、対州馬とのふれあい事業によりPR活動を実施しましたが、対州馬保存管理基本計画については、今年度の策定には至りませんでした。</p> <p>北部対馬観光地景観整備事業については、緊急雇用対策により、目保呂ダム馬事公園の景観形成、千俵蒔山の草地再生、あじさいロードのあじさいの植栽及び黒松の除草を行いました。</p>	
	<b>3. 評価</b>	○
	<p>25年度は、対州馬の活用について、マスコミの認知度もより一層上がり、新聞テレビ等の媒体でのPRが恒常的にできるようになりました。アサヒビールからの支援金ををいただいたことでそれを基金として、タオルやマスコットを制作し、コンスタントに販売しております。福岡での島外PR活動は花畑園芸公園のイベントで対州馬の乗馬体験、島内では臨海道路開通式や、土木の日のイベントなど新たなふれあいイベントに積極的に参加し、広報等で掲載されました。</p> <p>観光地環境整備についても、緊急雇用対策事業の取り組みにより、目保呂ダム馬事公園、千俵蒔山、あじさいロード等の環境地の整備ができました。</p>	
	<b>4. 今後の展開</b>	
	<p>対州馬の保存管理活用については、保護活用のための環境整備（ハード）面と、推進体制の整備（ソフト）面を合わせた事業の取り組みを実施していく必要があります。</p> <p>事業効果は継続性が重要となるため、関係する機関や民間団体、地域ボランティアの協力を得て、実施していくことが必要と考えています。</p> <p>対州馬保存管理基本計画については、関係機関と協議し、次年度での策定を目指します。</p>	